

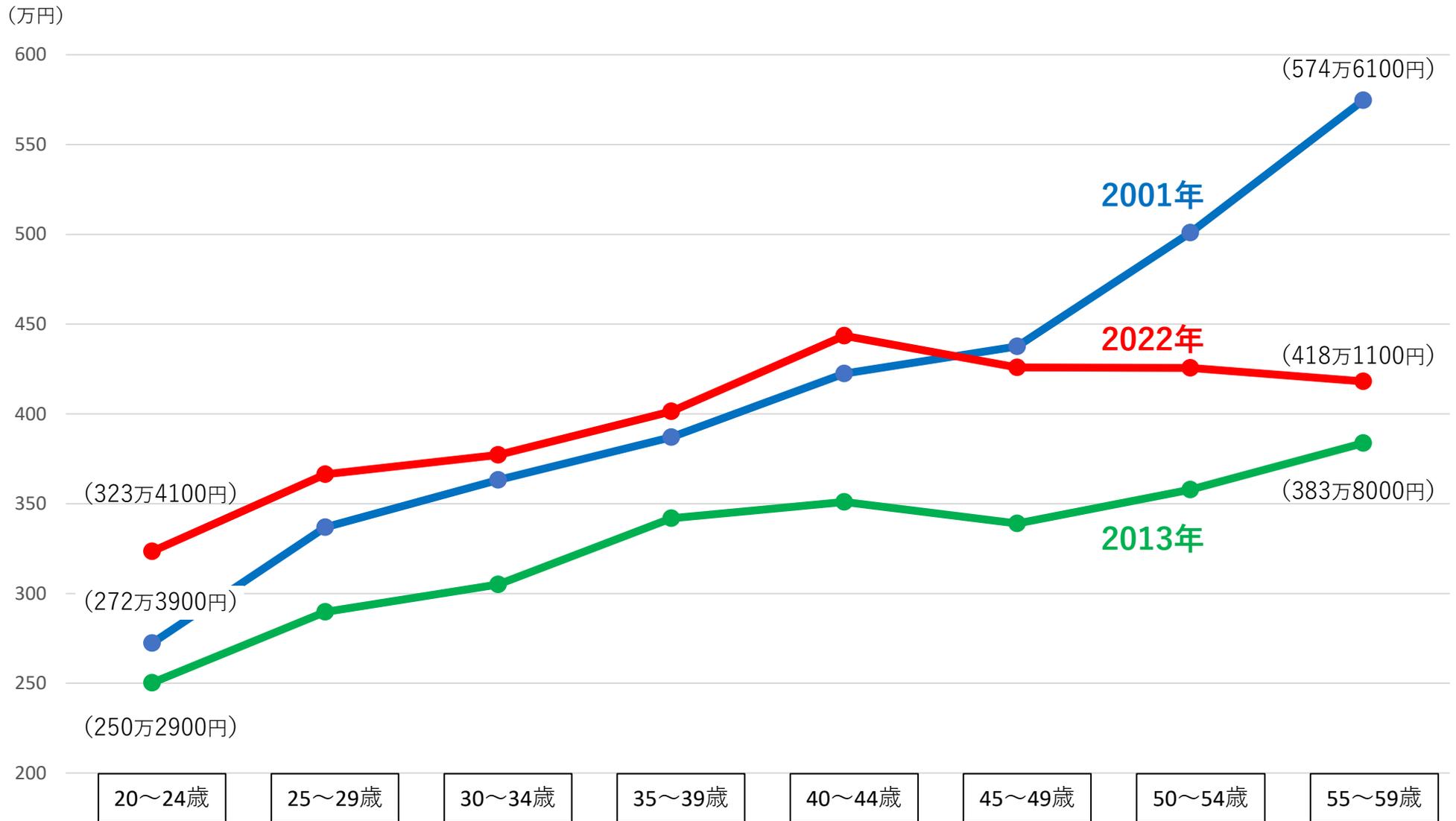
## 「こども・子育て政策の強化について(試案)」2023年3月31日

結婚やこどもを産み、育てることに対する多様な価値観・考え方を尊重しつつ、若い世代が希望通り結婚し、希望する誰もがこどもを産み、育てることができるようにすること、すなわち、個人の幸福追求を支援することで、結果として少子化のトレンドを反転させること、これが少子化対策の目指すべき基本的方向である。

## 「こども未来戦略方針」2023年6月13日

こうした急速な少子化・人口減少に歯止めをかけなければ、我が国の経済・社会システムを維持することは難しく、世界第3位の経済大国という、我が国の立ち位置にも大きな影響を及ぼす…今後、インド、インドネシア、ブラジルといった国の経済発展が続き、これらの国に追い抜かれ続ければ、我が国は国際社会における存在感を失う恐れがある…もとより、結婚、妊娠・出産、子育ては個人の自由な意思決定に基づくものであって、これらについての多様な価値観・考え方が尊重されるべきであることは大前提である。

# 民間保育士(女性)の年齢別収入 (推計)



出典：厚生労働省・賃金構造基本統計調査より井上事務所が作成（保育士年収の推計額は、「企業規模計」の「きまって支給する現金給与額」×12ヶ月に「年間賞与その他特別給与額」の合計額）

# 提言 1

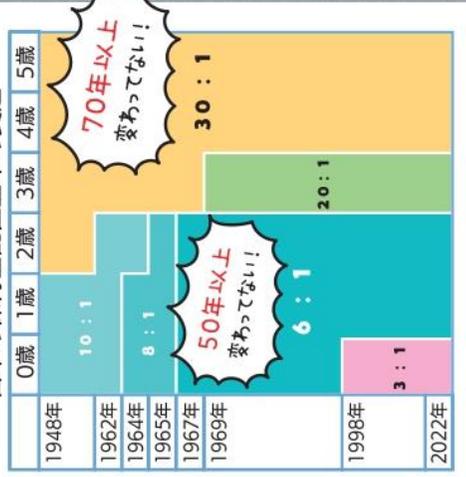
## 国の保育士配置基準を改善すること

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
現行基準	3対1	6対1	20対1	30対1	30対1	30対1
改善基準	2対1	3対1	5対1	10対1	15対1	15対1

70年以上変わらない配置基準に子どもたちは怒っています！  
保育士1人で何人の子どもを見られるの？

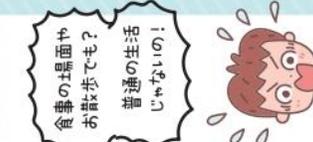
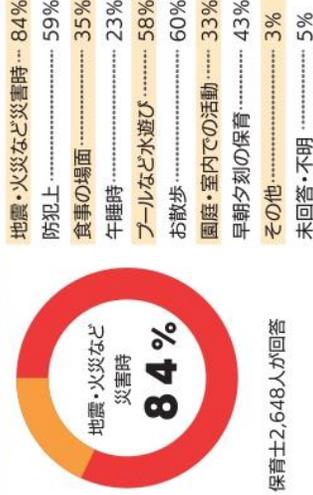


日本の保育士配置基準の変遷



長時間保育、休日保育、障害児保育、外国籍家庭の保育など、社会の求める保育のあり方は、その時々で変化してきましたが、現行の保育士配置基準は、70年以上変化のないまま放置されています。実行委員会が行った保育士アンケートでも、現行の配置基準の限界が示されました。子どもの命と発達する権利を保障するために、保育士配置基準の大幅な改善は待ったなしの課題です。

『国の保育士配置基準では、子どもの命と安全を守れない』  
と思う場面を選んでください。(あてはまるすべてを選択)



保育士2,648人が回答

子どもたちにもう1人保育士を1〜70年以上変わらない保育士配置基準を考えるアンケート～集計結果の最終報告より引用

同アンケートは、各クラスの適切な配置基準も聞いています。

保育士1人が受け持つ子どもの人数で適切だと思うものを選んでください



子どもたちにもう1人保育士を!〜70年以上変わらない保育士配置基準を考えるアンケート〜 集計結果の最終報告より引用

**0歳児**は、食事もおむつ替えもしっかり目と目を合わせて気持ちを感じながら生活します。保育士1人で2人が適切です。

自我が芽生え動きたくてたまらない**1歳児**には、全員に目が行き届く3人くらいが安心です。

**2歳児クラスから3歳児クラス**への進級は、乳児クラスから幼児クラスへの進級ということで、環境の変化など子どもたちにとって**負担が大きい**タイミングの一つとなっています。進級の負担を和らげるためにも、2歳児クラスを5対1、3歳児クラスを10対1へと改善を求めます。

仲間といっしょに何かをやりとげることが楽しい**4・5歳児**は、**5〜6人ほどのサイズのグループ**でよくあそびます。保育士1人で把握できるのが3グループであり、クラス全体の声に耳を向けられる最適人数は15人が適当だと考えます。国際的には3歳以上の幼児の受け持ち人数は10〜15人程度が普通であり、大幅な改善を求めめるものです。

現在の日本の配置基準について	人数	率
とても不足していると思う	700	47.7%
不足していると思う	548	37.4%
どちらかといえば不足していると思う	190	13.0%
どちらかといえば十分だと思う	20	1.4%
十分だと思う	5	0.3%
未回答・不明	4	0.3%
合計	1,467	100%

保護者アンケート集計結果の最終報告より

さらに、実行委員会が行った保護者アンケートからは、配置基準の改善は保育者だけの願いではなく、保護者の願いでもあることがわかりました。現行の日本の配置基準について、「どちらかといえば不足している」という人も含めると、回答した保護者のうち98%が不足していると感じています。このように、保育士配置基準の早急な改善が求められています。

また、アンケートの結果から、どのクラスも保育士を複数配置することや、各クラスの子どもの集団の最適な規模について、議論を進めていく必要性が示されました。

## 子どもたちにもう1人保育士を!

## 保育所の保育士配置基準の変遷

	乳児	1歳	2歳	3歳	4歳以上
中央児童福祉審議会の意見具申 (昭和37年度)	3 : 1 中央児童福祉審議会の意見具申 (昭和43年度)	6 : 1		20 : 1	30 : 1
S23～S26	10 : 1		30 : 1		
S27～S36	10 : 1		30 : 1 (10 : 1)	30 : 1	
S37・S38	10 : 1 (9 : 1)			30 : 1	
S39	8 : 1		9 : 1	30 : 1	
S40	8 : 1			30 : 1	
S41	8 : 1 (7 : 1)			30 : 1	
S42	6 : 1			30 : 1	
S43	6 : 1			30 : 1 (25 : 1)	30 : 1
S44～H9	6 : 1 (3 : 1)	6 : 1		20 : 1	30 : 1
H10～26	3 : 1	6 : 1		20 : 1	30 : 1
H27～	3 : 1	6 : 1		20 : 1 (15 : 1)	30 : 1

※1.配置基準は、最低基準による。

2. ( ) 内は、公定価格上(運営費上)あるいは他の補助金による配置基準等である。